

令和7年度 指定管理施設の管理運営に関する月次評価について

施設所管課名：文化スポーツ観光部文化振興課

1 施設概要

施設名称	横須賀市文化会館・横須賀市はまゆう会館
指定管理者名	よこすか文化パートナーズ
指定期間	令和4年4月1日～令和9年3月31日（5年間）

2 月次評価

評価月	評価
4月	<p>施設の管理運営は、仕様書に基づき良好に行われている。</p> <p>文化会館は、昨年度と同程度の利用があり、順調といえる。新規利用団体も出てきた。また、文化会館からはまゆう会館への利用の誘導の結果、はまゆう会館でも新規利用が増えた。日頃の運営の結果として評価できる。</p> <p>施設面では、施設の機械系設備だけでなく、利用者目線の不具合箇所もスピード感をもって修繕できている。費用対効果も考慮できている、評価できる。</p>
5月	<p>施設の管理運営は、仕様書に基づき良好に行われている。</p> <p>施設を定期的に利用している団体の抱える課題解決に向けた対策の検討や、文化会館の予約が取れなかった団体へ、はまゆう会館を案内するなど、利用者目線の姿勢が取れている。</p> <p>はまゆう会館では、災害時に備えた職員研修で、一時滞在施設の開設を行うための訓練を自主的に実施しており、評価できる。</p> <p>施設面では、小規模なものは自主で実施し、費用対効果を考えた修繕ができています。また、年間計画を立てて必要な部分からスピード感をもって実施できている。</p>
6月	<p>施設の管理運営は、仕様書に基づき良好に行われている。</p> <p>文化会館では、新規利用団体からも高評価を得られている。日頃の運営の成果といえる。</p> <p>はまゆう会館では、多目的室の直近割が認知された結果、日程確保のため、通常予約での利用も増えている。また、文化会館とはまゆう会館との使い分けも浸透しつつあり、日頃の利用案内の成果として評価できる。</p> <p>施設面においては、長期的な運用を考慮した修繕内容が計画できている、優先順位を随時見直し、今必要な修繕を見極めていることができています。</p>

7月	<p>施設の管理運営は、仕様書に基づき良好に行われている。</p> <p>文化会館では、ギャラリーの利用は落ち込んだものの、引き続き大ホールの利用が好調である。その多くがリピート利用の団体であり、日頃の運営が支持されているといえ、評価できる。</p> <p>はまゆう会館では、新規利用や、過去行われていた催しが久しぶりに実施されるなど、活況であった。また、新たな利用方法を開拓している団体も増えつつあり、文化会館とはまゆう会館で使い分けが進んでいる。日頃の利用案内の成果として評価できる。</p> <p>施設面においては、利用者目線で計画的に修繕を進めることができおり、少ない費用でも効果が得られる修繕方法を探し、工夫している点が評価できる。</p>
8月	<p>施設の管理運営は、仕様書に基づき良好に行われている。</p> <p>文化会館では、諸室それぞれが前年以上か、前年並みの利用件数で推移し、リピート利用団体が規模を拡大してイベントを実施するなど、多くの利用があった。</p> <p>はまゆう会館においても、通常利用のほか、商業利用も増えるなど活況であり、そのうちの新規利用団体はすでにリピート利用を決めるなど、今後も期待できる。日頃の運営の成果といえる。</p> <p>施設面においては、利用者目線で計画的に修繕を進めることができている。可能な部分は自主修繕により、費用対効果も考慮した修繕ができており、評価できる。</p>
9月	<p>施設の管理運営は、仕様書に基づき良好に行われている。</p> <p>文化会館では、引き続き大ホールの利用が好調であり、商業利用もあった。新規利用の問い合わせも増え、日頃の運営が支持されているといえる。また、地域のイベントに参加するなど、積極的な姿勢も評価できる。</p> <p>はまゆう会館においては、利用の安定しない諸室もあるが、文化会館の代替利用や使い分けも少しずつ進んでおり、日頃の対応や案内の成果といえる。</p> <p>施設面においては、自主で行う修繕と事業者が発注して行う修繕とをうまく整理して、安全面、利用者面だけでなく費用対効果面でも効果的に実施できている。また、機能維持や予防保全だけでなく、利用者への機能向上についても考慮した修繕計画ができており、評価できる。</p>
10月	<p>施設の管理運営は、仕様書に基づき良好に行われている。</p> <p>文化会館では、昨年比で大規模な商業利用が減少したが、その分一般の利用が増えたことで全体の利用率は昨年を上回った。抽選で漏れた団体に、次月利用を促すなど、利用者との関係づくりにも注力しており、評価できる。</p>

	<p>はまゆう会館は、今月はホールの利用が少なかったが、吹奏楽の練習利用が入るなど、新規団体の利用もあった。日頃の対応や案内の成果といえる。文化会館に比べ小規模なはまゆう会館では、吹奏楽での利用件数は少ないため、新たな活用方法のひとつとして今後につないでほしい。</p> <p>また、普段からよくある問合せに対し、休館日を利用して両館全スタッフと知識共有を図るなど、災害時の対応だけでなく、利用者対応に即効性のある研修ができている点も評価できる。スタッフからも好評だったとのことなので、今後も定期的実施し、対応力向上に役立ててほしい。</p> <p>施設面においては、施設面では、比較的大がかりな修繕も、利用者への影響が最低限となるよう配慮して実施できている。年間の全体予算を見ながら、必要な修繕を進められており、費用対効果も考慮されている点も評価できる。</p>
11月	<p>施設の管理運営は、仕様書に基づき良好に行われている。</p> <p>文化会館では、一部の貸室に利用減があったものの、その他の諸室利用は昨年度と同じかそれ以上であり、安定した運営ができている。</p> <p>はまゆう会館では、ホールの吹奏楽練習での利用が増加するなど、新たな利用方法が定着する兆しがあり、日頃の運営の成果として評価できる。</p> <p>施設面においては、施設面では、機能向上、機能維持、予防保全と多面的に修繕が実施できており、さらに費用対効果の面も考慮できている点が評価できる。</p>
12月	<p>施設の管理運営は、仕様書に基づき良好に行われている。</p> <p>文化会館では、公演内容による利用料金の上下はあるものの、昨年度同様の利用実績があり、安定した運営ができている。また、地域の商店街とうまく連携調整して開館60周年記念事業の実施もできている。</p> <p>はまゆう会館では、レギュラー利用の再開が増え、新規のレギュラー利用も入るなど、利用率の改善が見られる。直近割の利用回数も前年を超えており、日頃の運営の成果として評価できる。</p> <p>施設面においては、両館ともに、機能向上、機能維持、予防保全と多面的に現状の使用方法に合わせて修繕が実施できている。また修繕計画についても、状況を反映した優先順位の見直しができおり、評価できる。</p>
1月	<p>施設の管理運営は、仕様書に基づき良好に行われている。</p> <p>文化会館では、改修中の市施設の代替会場としての役割を果たし、安定した運営ができている。定期利用団体の高齢化や駐車場についても、課題解決の糸口を利用者目線で検討できおり、評価できる。</p> <p>施設面では、冷暖房の入切や、稼働台数を利用者に影響の出ない範囲で調整するなど、省エネにも配慮したきめ細かな運用ができおり、評価できる。</p>

	<p>はまゆう会館では、閑散期ということもあり、利用が低調であったが、新たな団体利用が定着し、利用頻度も増えるなど明るい兆しがある。直近割も安定した利用があり、ニーズに合った施策として評価できる。施設面においては、必要な修繕について、状況を反映した優先順位の見直しができおり、効率的に実施できている点が評価できる。</p>
2月	
3月	